

様式第2号

事業再評価シート

事業名	港湾改修（重要）事業		
箇所名	油津港 東地区	市町村名	日南市

（上段は前回、下段は今回）

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 県単		
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度
	S51	R3 R4	R6 R12
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率 (%)
	52,565	51,699	事業費    98% 用地
	59,695	52,099	87%
再評価の概要	対象選定理由		事業効果 (B/C)
	社会経済情勢の変化		1.1    継続
	社会経済情勢の変化		1.4    継続

全体計画
<p>県南地域の物流拠点として、増加する貨物や、船舶の大型化に対応するため、港湾機能の効率化や安全性・利便性の向上を図るべく、岸壁や泊地、ふ頭用地、防波堤などの整備に取り組む。</p> <p>宮崎県地域防災計画において緊急物資の輸送拠点とされていることから、既存の水深12m岸壁の耐震強化（改良）に取り組む。</p>

事業概要
<p>(外郭施設) ・防波堤（東） L=610m          ・防波堤（西） L=250m          ・防波護岸 L=450m          ・東防波堤 L=100m</p> <p>(係留施設) ・岸壁（-12m） L=240m 耐震強化（改良）          ・岸壁（-12m） L=75m ※耐震強化（延伸）          ・岸壁（-10m） L=185m</p> <p>(水域施設) ・泊地（-12m） A=2.7ha          ・泊地（-10m） A=4.5ha          ・泊地（-10m） A=1.4ha</p> <p>(保管施設) ・ふ頭用地 A=14.0ha          ・ふ頭用地 A=0.4ha</p>

事業目的
<p>○対象事業の目的、必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貨物量の増大と船舶の大型化に対応するため、水深10m岸壁1バースと水深12m岸壁1バースの整備を行う。</li> <li>・入出港船舶の安全確保及び、荷役作業の効率を高めるため防波堤（東）、防波堤（西）の整備を行う。</li> <li>・油津港は県南地域における防災拠点のひとつであり、大規模地震発生時における物資の緊急輸送に対応する。</li> <li>・水深12m岸壁の延伸や東防波堤の撤去・整備、水深10m泊地浚渫により安全な船回しと船舶の大型化に対応する。</li> </ul> <p>○計画での位置づけ</p> <p>対象事業は、重要港湾油津港港湾計画に基づくものである。</p> <p>○事業を継続する必要性</p> <p>港内静穏度の確保や船舶航行の安全性の確保、物流の効率化を図るため、事業継続が必要である。</p>

### 事業の進捗状況

#### ○進捗状況、整備効果の発現状況

- ・令和4年度末の事業進捗率は87%（事業費ベース）である。
- ・大水深岸壁やふ頭、防波堤等の整備により、大型チップ船の就航や国内定期航路の開設が実現し、物流機能が確立された。

#### ○今後の事業進捗の見込み

防波堤（西）を早期に完成させるとともに、岸壁の延伸や泊地の整備、防波堤の撤去・整備について計画的な事業執行に務める。

### 社会情勢等の変化

#### ○事業を取り巻く社会情勢等の変化

水深10m岸壁を使用する船舶の大型化が計画されており、水深10m岸壁と水深12m岸壁に大型船2隻の同時係留を可能にするため、岸壁の延伸や泊地の整備、東防波堤の撤去・整備が必要になった。

### 事業効果の分析

#### ○費用対効果

費用対効果は、1.4である。

#### ○事業を継続することの事業効果分析

- ・防波堤（西）の整備を行うことで、港内静穏度の向上や船舶航行の安全性が確保される。
- ・岸壁や泊地、東防波堤を整備することで、今後の船舶大型化に対して必要バース長や船舶回頭エリアの確保が可能となり、さらなる物流の効率化により、県南地域の産業を支える物流機能の充実が図られる。

### コスト削減

防波堤（東）堤頭部において、構造上の工夫により消波ブロック個数を削減した。

### 代替案の可能性

#### ○下記の理由から、代替案の可能性はない

・県南地域の産業活動を支え、地域経済や県民生活の安定・向上に貢献することを目的とし、これに必要な港の機能を確保するために港湾計画を策定し、これまで整備を進めてきたこと

・船舶の大型化等に対応した岸壁の施設配置や港内静穏度確保のための防波堤配置を考えると、現況案が最も適した案であること

### 対応方針

継続

位置図 (管内図)

